



## 2025年4月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年12月9日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東  
 コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役CEO兼COO（氏名） 野村秀輝  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員経営管理グループ統括（氏名） 齋藤高広（TEL）03-6805-9785  
 半期報告書提出予定日 2024年12月13日 配当支払開始予定日 2025年1月20日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年4月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年5月1日～2024年10月31日）

## （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年4月期中間期	16,183	12.8	647	△15.4	652	△16.4	442	△16.2
2024年4月期中間期	14,341	13.4	766	50.3	780	52.6	527	51.2

（注）包括利益 2025年4月期中間期 451百万円（△14.4%） 2024年4月期中間期 527百万円（42.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年4月期中間期	34.95	—
2024年4月期中間期	41.72	—

## （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年4月期中間期	14,306	7,473	50.8
2024年4月期	13,624	7,139	51.0

（参考）自己資本 2025年4月期中間期 7,269百万円 2024年4月期 6,950百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年4月期	—	12.00	—	7.00	—
2025年4月期	—	7.00	—	—	—
2025年4月期（予想）	—	—	—	7.00	14.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

（注）2023年11月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行ったため、2024年4月期の期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮した場合の2024年4月期第2四半期末の1株当たり配当金は6円、年間配当金は13円となります。

## 3. 2025年4月期の連結業績予想（2024年5月1日～2025年4月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,987	13.9	1,816	6.8	1,815	5.6	1,210	11.6	95.73

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 ー 社(社名) ー 、除外 ー 社(社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年4月期中間期	12,752,000株	2024年4月期	12,752,000株
2025年4月期中間期	130,552株	2024年4月期	101,502株
2025年4月期中間期	12,647,661株	2024年4月期中間期	12,639,878株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

発行済株式数に関する注記

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## (1) 業績の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、個人消費の持ち直し、インバウンド需要の拡大等により緩やかに回復してきております。一方で国際情勢が不安定な中、各種原材料・エネルギー価格の高騰、円安の進行、猛暑・自然災害等を背景とした物価高が継続し、先行きが不透明な状況が続いております。

美容サロン業界におきましては、大手サロンでは緩やかではありますが来店客数・客単価の回復が続く一方で、業界内での競争激化により倒産・廃業するサロンも増加してきております。

そのような状況下、当社グループでは引き続き今後の継続的な成長実現のために積極投資を継続し、美容業界における圧倒的No.1プラットフォームの地位確立に努めてまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は16,183,327千円(前年同期比12.8%増)、売上総利益は4,057,624千円(前年同期比11.8%増)、営業利益は647,813千円(前年同期比15.4%減)、経常利益は652,703千円(前年同期比16.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は442,032千円(前年同期比16.2%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## ①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTYGARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、および各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステティックサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン等向けに提供しております。

当中間連結会計期間におきましては、商品ラインナップの拡充とECサイトの更なる進化・改善に努めるとともに、各種美容展示会等に積極的に出展するなど、新商品・新サービスの認知拡大等に取り組んでまいりました。また、来期に稼働開始を計画している第三ディストリビューションセンターの開設準備も鋭意継続しております。

この結果、物販事業全体としての売上高は13,570,513千円(前年同期比14.1%増)、セグメント利益は561,187千円(前年同期比18.4%減)となりました。

## ②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・名古屋・大阪・福岡の五拠点において店舗設計・工事施工管理を提供しております。トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。当中間連結会計期間におきましては、第1四半期の業績が振るわなかったものの、第2四半期では美容サロン、クリニックを中心に案件獲得が進み、業績面でも回復傾向となって黒字転換となりました。

この結果、当事業の売上高は1,474,915千円(前年同期比4.3%減)、セグメント利益は54,031千円(前年同期比14.5%減)となりました。

## ③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして、開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、提携ビジネスカード、低コスト電力の供給、マーケティング支援サービス等の各種ソリューションサービスを、各専門WEBサイトと全国主要都市のショールームと法人営業部隊、各グループ会社を通して提供しております。これら周辺ソリューション事業は、今後の当社グループの成長のキードライバーとなるものと考え、サービスラインナップの拡充と、新規顧客の獲得やクロスセルに注力しております。

当中間連結会計期間におきましては、各種サービスのうち、店舗リース、講習・アカデミー、提携ビジネスカード、損害保険、低コスト電力の提供等を大きく伸ばすことが出来ました。この結果、当事業の売上高は1,137,898千円(前年同期比24.9%増)、セグメント利益は135,724千円(前年同期比20.6%増)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.6%増加し、11,426,749千円となりました。これは、主に棚卸資産の増加があったことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べて6.5%増加し、2,879,879千円となりました。これは、主に無形固定資産の減少があったものの、投資その他の資産の増加があったことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて10.8%増加し、5,380,154千円となりました。これは主に、前受金及び賞与引当金の増加によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10.7%減少し、1,452,745千円となりました。これは、主に長期借入金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて4.7%増加し、7,473,729千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少88,553千円があったものの、親会社株主に帰属する中間純利益の計上に伴い利益剰余金の増加442,032千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年6月9日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年4月30日)	当中間連結会計期間 (2024年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,523,768	3,523,063
受取手形及び売掛金	2,869,968	2,850,642
リース投資資産	242,469	294,833
営業投資有価証券	161,984	181,984
商品及び製品	3,199,442	3,468,849
仕掛品	150,992	268,429
前渡金	221,950	152,009
その他	571,070	707,139
貸倒引当金	△20,226	△20,201
流動資産合計	10,921,420	11,426,749
固定資産		
有形固定資産	325,832	347,226
無形固定資産		
ソフトウェア	327,012	287,247
のれん	207,837	172,899
その他	7,684	19,887
無形固定資産合計	542,533	480,034
投資その他の資産	1,834,804	2,052,618
固定資産合計	2,703,170	2,879,879
資産合計	13,624,591	14,306,629
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,015,919	2,074,581
短期借入金	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	547,085	628,469
未払金	394,208	429,903
未払法人税等	381,522	381,644
前受金	523,389	644,298
契約負債	262,722	296,200
資産除去債務	3,231	3,231
賞与引当金	89,396	303,387
その他	634,948	618,436
流動負債合計	4,857,423	5,380,154
固定負債		
長期借入金	1,085,531	895,826
退職給付に係る負債	42,492	38,683
資産除去債務	65,223	66,939
その他	434,208	451,296
固定負債合計	1,627,455	1,452,745
負債合計	6,484,879	6,832,899
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	794,585	818,498
利益剰余金	5,469,011	5,822,490
自己株式	△80,608	△131,695
株主資本合計	6,951,373	7,277,679
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,776	△3,449
為替換算調整勘定	△3,864	△4,717
その他の包括利益累計額合計	△1,088	△8,167
非支配株主持分	189,426	204,217
純資産合計	7,139,712	7,473,729
負債純資産合計	13,624,591	14,306,629

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
売上高	14,341,920	16,183,327
売上原価	10,713,434	12,125,703
売上総利益	3,628,485	4,057,624
販売費及び一般管理費	2,862,413	3,409,811
営業利益	766,072	647,813
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,051	4,490
為替差益	8,526	—
受取手数料	5,136	4,502
債権譲渡益	3,682	—
その他	1,658	3,404
営業外収益合計	23,055	12,397
営業外費用		
支払利息	3,429	4,999
為替差損	—	209
チャージバック損失	3,718	130
その他	1,238	2,167
営業外費用合計	8,386	7,506
経常利益	780,741	652,703
特別損失		
関係会社株式売却損	27,737	—
特別損失合計	27,737	—
税金等調整前中間純利益	753,004	652,703
法人税、住民税及び事業税	281,345	303,060
法人税等調整額	△61,017	△106,224
法人税等合計	220,327	196,835
中間純利益	532,676	455,868
非支配株主に帰属する中間純利益	5,361	13,835
親会社株主に帰属する中間純利益	527,314	442,032

## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
中間純利益	532,676	455,868
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△3,449
為替換算調整勘定	△5,526	△1,053
中間包括利益	527,149	451,365
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	519,603	437,729
非支配株主に係る中間包括利益	7,546	13,635



## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	753,004	652,703
減価償却費	88,111	94,608
のれん償却額	34,937	34,937
関係会社株式売却損益(△は益)	27,737	—
引当金の増減額(△は減少)	231,960	248,623
受取利息及び受取配当金	△4,051	△4,490
支払利息	3,429	4,999
助成金収入	△329	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△472	△363
売上債権の増減額(△は増加)	101,998	19,325
棚卸資産の増減額(△は増加)	△555,295	△460,975
仕入債務の増減額(△は減少)	180,256	58,662
前渡金の増減額(△は増加)	△1,474	69,941
未払金の増減額(△は減少)	△67,041	23,078
前受金の増減額(△は減少)	124,924	120,909
その他	△278,225	11,263
小計	639,470	873,224
利息及び配当金の受取額	4,051	4,490
利息及び保証料の支払額	△3,451	△4,687
助成金の受取額	329	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△288,645	△290,718
営業活動によるキャッシュ・フロー	351,756	582,309
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,500	△10,200
定期預金の払戻による収入	24,450	17,700
有形固定資産の取得による支出	△6,933	△41,280
有形固定資産の売却による収入	472	363
無形固定資産の取得による支出	△55,894	△34,522
投資有価証券の取得による支出	△900	△73,790
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	1,334	—
敷金保証金の差入による支出	△293,695	△65,110
敷金保証金の回収による収入	4,598	15,615
その他	674	1,649
投資活動によるキャッシュ・フロー	△336,393	△189,575
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△10,000	△5,000
長期借入れによる収入	400,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△255,083	△308,321
リース債務の返済による支出	△1,800	△4,225
配当金の支払額	△126,197	△88,492
非支配株主への配当金の支払額	△8,460	△11,014
非支配株主からの払込みによる収入	240	30,680
自己株式の取得による支出	—	△57,288
自己株式取得のための預け金の増減額(△は増加)	—	△142,669
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,302	△386,331
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,519	392
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	27,579	6,794
現金及び現金同等物の期首残高	3,362,632	3,506,468
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,390,211	3,513,263

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、これによる前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年5月1日 至 2023年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	4,722,244	—	—	4,722,244	—	4,722,244
化粧品等	6,930,072	—	—	6,930,072	—	6,930,072
金属スチール家具	237,589	—	—	237,589	—	237,589
その他	—	1,541,306	910,707	2,452,013	—	2,452,013
顧客との契約から生じる収益	11,889,907	1,541,306	910,707	14,341,920	—	14,341,920
外部顧客への売上高	11,889,907	1,541,306	910,707	14,341,920	—	14,341,920
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,953	1,708	2,224	12,886	△12,886	—
計	11,898,861	1,543,014	912,931	14,354,806	△12,886	14,341,920
セグメント利益	688,149	63,194	112,513	863,856	△97,784	766,072

(注) 1. セグメント利益の調整額△97,784千円には、セグメント間取引消去13,196千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,981千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2024年5月1日 至 2024年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	4,912,634	—	—	4,912,634	—	4,912,634
化粧品等	8,434,789	—	—	8,434,789	—	8,434,789
金属スチール家具	223,090	—	—	223,090	—	223,090
その他	—	1,474,915	1,137,898	2,612,814	—	2,612,814
顧客との契約から生じる収益	13,570,513	1,474,915	1,137,898	16,183,327	—	16,183,327
外部顧客への売上高	13,570,513	1,474,915	1,137,898	16,183,327	—	16,183,327
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,419	174	5,729	20,324	△20,324	—
計	13,584,933	1,475,090	1,143,628	16,203,652	△20,324	16,183,327
セグメント利益	561,187	54,031	135,724	750,943	△103,130	647,813

(注) 1. セグメント利益の調整額△103,130千円には、セグメント間取引消去18,406千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△121,536千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。